

(件名)

静岡県産業教育審議会答申について

(高校教育課)

1 要旨

職業に必要とされる知識・技術が絶え間なく変化する中で、これらに対応できるデジタル人材や新産業の創出に貢献できるスタートアップ人材の育成、深刻な少子化の中で地域の産業を担う人材の確保が課題となっていることから、これからの時代に対応した産業教育について新たに検討をするため、産業教育振興法（昭和26年法律第228号）第12条及び第13条に基づき、静岡県産業教育審議会を設置し、昨年1月から11月まで5回にわたり審議会を行ってきた。本審議会会長である川田善正静岡大学教授から池上重弘教育長に答申が手交される。

2 概要

(1) 諮問事項等

専門高校等におけるこれからの時代に対応した産業教育の在り方

(2) 審議内容

ア 社会の急激な変化に主体的に対応できる専門的資質・能力の育成

イ 県内産業の発展と新産業の創出に貢献できる能力の育成

ウ これからの時代に対応できる学科改善の在り方と少子化に伴う専門高校等の適正な整備

3 静岡県産業教育審議会委員（任期 令和7年1月1日～令和8年12月31日）（50音順、敬称略）

No.	氏名	役職	備考
1	飯倉 清太	特定非営利活動法人NPOサプライズ 代表理事	
2	上野 雄史	静岡県立大学経営情報学部経営情報学科 教授	
3	江頭 綾子	ヤマハ発動機株式会社 執行役員 ソリューション事業本部長	
4	奥田 都子	静岡県立大学短期大学部社会福祉学科 准教授	
5	川田 善正	静岡大学 電子工学研究所 教授	会長
6	岸田 裕之	静岡ガス株式会社 代表取締役 取締役会長	副会長
7	齋藤 寛	東海大学海洋学部 学部長	
8	豊田 由美	特定非営利活動法人スマイルベリー 施設長	
9	西村 やす子	株式会社 CREAMFARM 代表取締役	
10	村木 則予	株式会社アトリオン 代表取締役	
11	望月 康弘	静岡県立静岡農業高等学校 校長	R7. 1. 1～R7. 3. 31
12	新林 章輝		R7. 4. 1～
13	横田 茂永	静岡県立農林環境専門職大学短期大学部 学科長	

4 本答申のポイント

- 本県の専門高校に加え、総合学科や普通科で関係する系列や類型等を有する高校を対象。
- 社会の急激な変化に対応し本県産業を支える「アドバンスト・エッセンシャルワーカー」の育成を目指し、「目指すべき生徒像」「学びの方向性」に加え、学科改善や適正な整備を含む「具体的な方策」を体系的に提示。
- 各専門学科別の施策に留まらず、「DXへの対応」や「アントレプレナーシップ教育」など全ての学科に共通する課題と方策の提示、および学科間の連携や普通科との接続による「学びのシナジー（相乗効果）」の創出と、地域における「学びの拠点化」を通じた教育の質の保障と最適化。
- 本答申の提言を受け、本県専門高校等における教育内容の抜本的な改革や環境整備などの具現化に向けた取組を、適切な施策として着実に推進。

5 審議経過等

年度	月	審議会	専門部会・共通部会	
6	1	第1回（1月22日） ○ 説明（諮問事項・開催計画等） ○ 承認（専門部会の設置） ○ 審議（現状と課題、前回答申具 現化進捗状況等）	第1回（1月22日） 農業・水産、工業、商業、家庭・福祉専門部会	
	2		第2回 商業専門部会（2月17日） 農業・水産、家庭・福祉専門部会（2月18日） 工業専門部会（2月21日）	
7	4	第2回（4月22日） ○ 報告（部会検討内容） ○ 審議（社会の急激な変化に主体的に対応できる専門的資質・能力の育成）	第3回 工業、商業、家庭・福祉専門部会（4月28日） 農業・水産専門部会（4月30日）	
	5		第1回共通部会（5月13日）	
	6	第3回（6月30日） ○ 報告（部会検討内容） ○ 審議（県内産業の発展と新産業の創出に貢献できる能力の育成）		
	7		第4回 商業専門部会（7月7日） 農業・水産専門部会（7月8日） 工業、家庭・福祉専門部会（7月14日） 第2回共通部会（7月29日）	
	9	第4回（9月5日） ○ 報告（部会検討内容） ○ 審議（これからの時代に対応できる学科改善の在り方と少子化に伴う専門高校等の適正な整備）		
	10		第5回 水産専門部会（10月14日） 商業、家庭・福祉専門部会（10月15日） 農業専門部会（10月17日） 工業専門部会（10月29日）	
	11	第5回（11月26日） ○ 報告（部会検討内容） ○ 審議（中間まとめ(案)）		
	2	答申決裁		
	3	●答申手交式（3月11日） 「専門高校等におけるこれからの時代に対応した産業教育の在り方」		
	8	9	第6回 ○ 進捗報告	